



【オイルでバイクが変わる!? ニューテック徹底検証 Vol.3】

今回のテストアイテム

今回は今までとちょっと流れを変え、ニューテックオイルのユーザーインタビューという内容だが、話の中で情報されているオイルとして最も登場率が高かったのがこのNC-50だ。10W50という粘り度が高性能の激しいバイクではやはり安心できる、という声が多かった。1リッター2520円で手に入れられる高性能、どうですか？

ニューテックでホントに変わった？ ジャンル別ユーザーインタビュー

バイク便が使う業務用バイクへのレポートから一転、今回は実際にニューテックを使っている様々なユーザーにインタビューして、率直な感想を聞いてみた。

カワサキのZX-7RRで選手権を走っていたショップオーナー、エイブ改でDE耐に参加したエントラント、そして走行会を楽しんでいた空冷マルチ愛好家とその車種はバラバラ。ニューテックの実力はジャンルの垣根を超えられるか？

Photo & Text/Kazuma Takagi 高城一磨
取材協力/ニューテックジャパン Phone 045-929-1610
レーシングプロダクトサクセス Phone 046-332-9411

NUTEC NC-50

証言その①

レーシングプロダクトサクセス ◎ 菅沢 仁さん



「エンジンの寿命を如何に上げてくれるか？
オイルにはまずその部分を求めます」

神奈川県平塚市のサクセスは、大排気量マシンからスクーターまで2輪ならなんでも扱うショップだ。オーナーの菅沢さんはテストオブフリーランスやB.O.Tなどイベントレースでは上位入賞の常連で、スーパーバイクで選手権も走っていた人。そんなレーシーな経歴ながら、バイクに対して垣根を作ることなく平等に扱う、そんなショップである。

現在の愛車はアフリカのミッドレックオリイの古いエンジン。有名だが、その作りは意外にオールドスクールという。オイルは現在様々なメーカーを試している最中で、ニューテックの効果が楽しみ、とは菅沢さんのハナシ。



たときでした。年に2回くらいはエンジンを開けてオーバーホールしていたんですが、タイミング的にこれが終わったら整備するというレースで試しに添加剤のギガブーストを使ってみたんです。するとオーバーホールしないとトップで1万2000rpmまでしか回らないエンジンが、1万3500rpmまで回ったんです。これには驚いて、ならオイルも……とNC-50を使い始めました。このオイル、10W50にしては柔らかく、レスポンスもパワーも上がりましたね。感覚的には10W40くらいな気がします。カワサキはクランクのメタルが弱い傾向にあって、オイルが悪いと超高回転で焼いてしまうこともあるんですが、NC-50に関しては問題ありませんでした。僕らがエンジンオイルに求めるものって、やはりエンジンの寿命を上げたいというのが第一。この部分はストリートでも共通しますが、加えてパワーアップすれば言うことなし。NC-50は軽く回る割りに油膜がしっかりしているので安心して使えます。気になるのはライフがやや短いということかな？ レーサーだと3時間くらいでダレが始まるから、ストリートでは3000kmで交換を推奨しています」

レーシングプロダクトサクセスではオリジナルのエイブレーサーも製作している。オリジナル設計のフレームは走りを楽しみながら学習でき、専用の外装でまとまり具合もなかなか。大人が楽しめるオモチャである。





「エンジンオイル自体の抵抗の低さ、小排気量にはそれが大きく効くんです」

ほとんどエイブばかりが246台！5月1〜2日に開催されたDE耐は例年以上に盛況で、小排気量車の気軽さと耐久レースならではの面白さがミックスしたイベントが人気上昇中だ。それにしても7時間、しかも125cc以下の小排気量でもてぎの本コースを走るといふことはほとんど全開走行、エンジンにとってかなり過酷な条件。そんな中、エイブにNC50を使うチームがあった。「エンジンの調子は常に安定してしましたよ。オイルクーラーも付けていないのにね。油温計をチェックしても100度以上になることはありませんでした。一番つらそうだったのは、ゴールも間近の6時間半を過ぎた辺りかな？ それでも97度。平均して90度台が多く油温としてはやや高めでしたが、そこから大き

油温計はヨシムラのシングルテンプレーターを使用。エイブの場合、センサーと取り付けはエンジンオイルのドレンボルトと入れ替えになる。終始100度を越えることなく、やや高めながら安定した数字を見せていた。



く崩れることなく安定してました。熱に対してはかなり強いみたいですね」そう語るのには、ゼッケン107番のエイブのオーナー加藤さん。その昔、CB125JXや125Tでプロダクションレースの経験があり、今はエイブ100でDE耐を楽しんでいる。今はVTRをはじめとするリッターバイクを所有し、エイブ100はお散歩バイクとして購入したはず



加藤さんチームはライダー5人体制で挑んだ。排気量が小さくてもレースはレース、緊張感はある。でも耐久はワイワイ楽しめる分人気が高い。総合順位も気になるが、盛り上がるのは何となく身内同士のタイム争い！



左が加藤さん、右がチームメイトの鈴木さん。エンジンは去年のノーマルから今年は武川の115cc仕様様にチューニング。ハイカムとビッグキャブも入れ、公開練習時点で昨年のタイムから10秒以上アップしたという。

「最初はホンダの純正オイルを使っていたんですけど、ニューテックに比べると長時間の使用ではやはり熱ダレの傾向がありました。DE耐は去年初めて参加。オイルもNC50にしています。まず違いを感じたのはエンジンの回り方。軽くて抵抗の低さがわかるんです。このエンジンオイルの抵抗というのは、パワーが限られる小排気量車ではかなり影響が大きいです。その昔JXとかでレースをしていた時には、指定オイル量が1.2リッターなのに0.7しか入れず、1レース1分間もてばいい、なんてムチャなこともしていました。もちろんエイブにはしっかり規定量を入れてますよ。オイルがやわらかい分エンジンの回り方が軽いかから、吹け上がりも速くトップスピードへの到達時間も短縮がしますね」

レースは序盤でガス欠というトラブルに見舞われ一時期100位以降に順位を落とすものの、最終的には38位までジャンプアップしゴール。エンジンはタレを感じることなく、安定していたという。小排気量車にも確実な効果をもたらすNC50。このエンジンの内部が7時間の全開走行後一体どうなっているか？加藤さんにご協力いただき、その辺りの話は次回にご報告する予定です。

ニューテック走行会で聞いてみました
「旧車にニューテックって効くんですか？」



異音の収まりやアイドリングの安定など僅かながらも効果はあります

福田 仁さん
KAWASAKI Z750GP

「じつはこれ、動めているお店の車輦で調子見がてら参加したんです。エンジンがヤレ気味なのでオイルの正確なインプレは難しいのですが、それでもニューテック効果は多少ながら体感できました。今はインタセプターのZZ-02を使用していますが、その前はNC50。そのときはとくに冬場の始動性やアイドリングの安定、クランクのゴトゴト音の減少など、オイルの違いがわかりましたよ」

本調子じゃないエンジンのコンディションも向上させてしまう？ニューテック。旧めの空冷エンジンにも効果は期待できそう。最新オイルと旧車の相性に関しては、今後も引き続き追っていく予定です。



夏場の渋滞でもノッキングすることなく安定して走れます

八重樫 哲也さん
SUZUKI GS750G

4/21に筑波のコース1000で行われたニューテック走行会はバラエティに富んだ車輦が集まっていた。ニューテックと云えばクリアランスの小さい最近のエンジンとの相性がバツンだが、参加者の中には80年代の空冷4発もチラホラ。オーナーさんに突撃インタビューを敢行してみた。「以前は某有名メーカーの化学合成オイルを使っていたんですけど、夏場になると渋滞の激しい都内ではどうしても熱ダレしてしまい、悩んでいたんです。でもニューテックのNC-40を使ってからはそれもなく安定しています。カミさんのタンデムで都内を走るときも気遣いが減った分、楽しいですね」